

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1083	(H.22)No.	1083
-----------	------	-----------	------

事務事業名		環境衛生費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
生活環境部		環境対策室		名 和 健 治	63-7492
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度 ~	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	1	良好な地域環境づくり
	施 策	1	環境保全
	小 施 策	3	環境美化の推進
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分		事業コード	252501
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	衛生費	環境衛生費	
項	保健衛生費	(小事業名)	
目	環境衛生費	環境衛生費	

3. 事務事業の概要

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・狂犬病予防事業 (予防注射、犬の登録管理、飼い主のモラル向上のための啓発)など ・感染症予防にかかる消毒、へい獣の処理 	

めざす効果(事業目的)
<ul style="list-style-type: none"> ・感染症予防に係る消毒、へい獣の処理等の清潔で安全な公衆衛生を図る。 ・狂犬病予防法に基づき狂犬病の発生予防や犬を原因とする危害防止を図り、県と連携して狂犬病予防思想の普及に努める。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部、一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	委託料(狂犬病予防注射委託料等) 3,498千円 等 ・犬の登録 380頭 ・狂犬病予防注射 4,175頭 ・へい獣処理 117件 ・迷い犬一時保護 29頭 ・蜂の防護服貸出 34件 ・アライグマ等外来生物駆除への取組み	委託料(狂犬病予防注射委託料等) 4,361千円 等 ・犬の登録 440頭 ・狂犬病予防注射 3,390頭 ・へい獣処理 120件 ・迷い犬一時保護 60頭 ・蜂の防護服貸出 65件 ・アライグマ等外来生物駆除への取組み	補助金・交付金	その他 ()	
直接事業費	4,155千円	5,161千円	平成24年度(計画) 5,485	平成25年度(計画) 5,485	平成26年度(計画) 5,485
財源内訳(千円)					
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他()	4,155	5,161	5,485	5,485	5,485
一般財源	(0)	0	0	0	0
人工数					
職員	0.71人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人
臨時職員等	0.30人	0.35人	0.35人	0.35人	0.35人
概算人件費	(0千円) 5,693千円	7,895千円	7,895千円	7,895千円	7,895千円
+ 総事業費	(0千円) 9,848千円	13,056千円	13,380千円	13,380千円	13,380千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標	環境保全活動に参加したことがある市民の割合	—	—	—	—	74.0
	実績		70.5	64.6	66.2		
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針	・市民や住民組織、事業所、各種団体、ボランティア組織と行政の協働によってさまざまな環境保全活動が実施されてきたがよりよい環境を未来へ引き継ぐため環境を守り育てる活動への参画を一層促進する必要がある						

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
・犬を家族の一員として迎える傾向があり、室内飼育が増えていることから予防接種率の一層の向上が望まれる。 ・生活形態の変化から犬・猫等の飼育放棄やペットの問題行動増加が懸念される。	・狂犬病予防接種率の一層の向上を三重県より求められている。 ・飼育放棄された犬や迷い犬の一時保護、ペットの問題行動に対する指導できる施設やボランティアの育成が求められている。

7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践していないが、今後可能性がある	協働等の主な相手先について その他団体
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) その他	協働等の今後の取組について 今後、取組み予定
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか できる	・狂犬病予防注射については、三重県獣医師会や三重県と連携し接種率の向上を目指す。平日日中以外の接種を検討。
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 検討の余地がある	・迷い犬や飼育放棄された犬の一時保護、ペットの問題行動を指導することが出来るボランティアの育成。

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行)	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など ・狂犬病予防注射については、三重県獣医師会の協力により日曜日に集合注射を実施 ・犬の生涯飼育や犬鑑札、迷子札、マイクロチップ等の啓発。	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など ・鳥獣に関する管理監督は行政の責務であり、市民の安全性を確保するため飼い主へより一層の適正な飼育、管理の徹底を行う。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1084	(H.22)No.	1084
-----------	------	-----------	------

事務事業名		環境対策一般経費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
生活環境部		環境対策室		名 和 健 治	63-7492
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度 ~	平成	年度	名張市快適環境基本条例

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	2 美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	1 良好な地域環境づくり
	施 策	1 環境保全
	小 施 策	2 地域環境の保全
	重点施策コード	

2. 予算区分

会計区分		事業コード	253001
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	衛生費	環境対策費	
項	保健衛生費	(小事業名)	
目	環境対策費	環境対策一般経費	

3. 事務事業の概要

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> 市内住宅団地のあき地の所有者に対し雑草の除去等、適正な管理を指導。 市内河川の水質や大気等を監視し、工場・事業所への公害防止関係法令や公害防止協定の遵守についての啓発。 市民、事業所、行政全体でCO2消費量の削減や省エネルギーに取り組む。 	

めざす効果(事業目的)
無駄なエネルギー消費を抑え、大気や河川などの広い範囲から地域などの身近な範囲まで良好な生活環境が保たれる。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)				
			平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)		
主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	補助金・交付金	その他 ()
	<ul style="list-style-type: none"> 快適環境審議会開催 1回 56千円 あき地の雑草対策代執行 5件(9区画) 291千円 大気水質調査 箇所延べ 71回 1,270千円 環境行事(物貸与等) 16回 	<ul style="list-style-type: none"> 快適環境審議会開催 2回 140千円 あき地の雑草対策代執行 10件 525千円 大気水質調査 29箇所延べ 71回 2,123千円 環境行事15回 60千円 	あき地の雑草除去等の対策 大気水質等の環境調査・環境行事 地球温暖化防止対策	あき地の雑草除去等の対策 大気水質等の環境調査・環境行事 地球温暖化防止対策	あき地の雑草除去等の対策 大気水質等の環境調査・環境行事 地球温暖化防止対策		
直接事業費	2,279千円	3,442千円	3,713千円	3,713千円	3,713千円		
財源内訳(千円)							
国庫支出金							
県支出金							
地方債							
その他()	395	538	748	748	748		
一般財源	(0) 1,884	2,904	2,965	2,965	2,965		2,965
人工数							
職員	1.81人	1.10人	1.81人	1.81人	1.81人		1.81人
臨時職員等	0.60人	0.35人	0.60人	0.60人	0.60人		0.60人
概算人件費	(0千円) 14,233千円	8,625千円	14,233千円	14,233千円	14,233千円		14,233千円
+ 総事業費	(0千円) 16,512千円	12,067千円	17,946千円	17,946千円	17,946千円		17,946千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	空き地苦情にかかる対応件数	-	-	-	-	-
	実績		938	1,389	1,343		
成果指標	目標	日常生活で省資源・省エネルギーを心がけている市民の割合	-	-	-	-	96.0
	実績		93.1	90.7	90.6		
成果指標	目標	BOD値 シャックリ川 町田橋 (年平均)	-	-	-	-	2.7
	実績		3.0	2.3	1.9		
考察及び今後の対応方針	・BODの平成22年度測定値が目標値(2.7mg/l)より0.8mg/l下回っていますが、今後の推移を見守っていきます。						

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
・環境行事の実施や、空き地の雑草等の除去についてこれまでの行政主体から民間、企業、地域主体に移行してきている。	・空き地の雑草除去について、行政代執行の更なる取組みが望まれる。

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 一部実践している	協働等の主な相手先について 地域づくり組織等
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) その他	協働等の今後の取組について 継続実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある	・空き地の雑草除去状況について各地域と協働の形での見守りが可能。
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 検討の余地がある	・地域や市民自身による環境美化行動への参加や、地域が主体となり所有者への除草作業の依頼を行う。

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行)	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など ・特に空き地の雑草等の除去について、地域との連携を密にし、空き地所有者への指導等を的確なものにしていく。	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など ・空き地の除草に関しては、所有者に対し適宜指導を行っているにもかかわらず苦情件数は減少傾向にない。 ・今後も所有者による除草が適切に行われるよう啓発、指導を行う。 ・行政代執行施工に関する条件整備。 ・不履行者に対しては代執行を持って住環境の保身に努める。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	4002	(H.22)No.	4002
-----------	------	-----------	------

事務事業名	総合福祉センターふれあい公共下水道接続事業		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
健康福祉部	健康福祉政策室	高嶋 正広	63-7579
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 22 年度 ~ 平成 22 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	1	良好な地域環境づくり
	施策	1	環境保全
	小施策	2	地域環境の保全
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	120901
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	民生費	総合福祉センターふれあい公共下水道接続事業
項	社会福祉費	(小事業名)
目	社会福祉総務費	総合福祉センターふれあい公共下水道接続事業

3. 事務事業の概要

事業概要	
公共下水道の管路整備に合わせて、総合福祉センターふれあいの下水処理を個別合併浄化槽から公共下水道接続に切り替える。 (平成22年度単年度事業)	

めざす効果(事業目的)
高度な下水処理により、河川水質の向上と自然環境の維持を図ることができる。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
			平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)
主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施		
	既設合併浄化槽撤去 一式 公共下水道接続工事 一式		業務委託(全部・一部)により実施		
			指定管理		
			補助金・交付金		
			その他 ()		
直接事業費	10,580千円				
財源内訳 (千円)	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債	6,100			
	その他()				
一般財源	(0) 4,480	0	0	0	0
人工数	職員	0.08人			
	臨時職員等				
概算人件費	(0千円) 584千円	0千円	0千円	0千円	0千円
+ 総事業費	(0千円) 11,164千円	0千円	0千円	0千円	0千円

概算人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
目標							
実績							
目標							
実績							
目標							
実績							
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
平成22年度で終了	

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄(工夫・改善等を記載)
協働等は実践していますか	協働等の主な相手先について	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか		
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか		
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか		
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか		

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など	